

改定率のパターンごとの建設コストイメージ図

パターン	料金算定期間内の建設コストイメージ	起債の割合	費用 (億円・税込み)	効果・影響
A 改定率 (%) 現行 +102	建設コスト 16.23億円 割増 災害対策 (耐震化等) 物価上昇分 建設時の価額 建設時の価額	料金 収入 約 16.23 億円	災害 3.85 設備 6.16 管路 6.22 計 16.23	・災害対策が計画的に実施可 ・アセットマネジメント計画に基づく更新が計画的に実施可 ・水道事業ビジョンに掲げる「管路の計画的耐震化と更新」の指標値約5.0kmが実施できる。
B 改定率 (%) 現行 +59.1	建設コスト 16.23億円 割増 災害対策 (耐震化等) 物価上昇分 建設時の価額 建設時の価額	料金 収入 約 10.63 億円 起債 約5.6億 円 充当率 約35%	災害 3.85 設備 6.16 管路 6.22 計 16.23	・Aと同じ
C 改定率 (%) 現行 +45.1	建設コスト 12.38億円 割増 災害対策 (耐震化等) 物価上昇分 建設時の価額 建設時の価額	料金 収入 約8.68 億円 起債 約3.7 億円 充当率 約30%	災害 3.85 設備 4.62 管路 3.91 計 12.38	・災害対策が計画的に実施可 ・アセットマネジメント計画に基づく更新に遅れが生じる ・A, Bと比較して更新費用の設備のうち約1.54億円と管路のうち約2.31億円の合計3.85億円を削減する。水道事業ビジョンに掲げる「管路の計画的耐震化と更新」の指標値は、約5.0kmから約3.2kmに減少する。 ・料金算定期間内の減少額は、5年間で約19.25億円先送りされる
D 改定率 (%) 現行 +34.6	建設コスト 12.38億円 割増 災害対策 (耐震化等) 物価上昇分 建設時の価額 建設時の価額	料金 収入 約7.18 億円 起債 約5.2 億円 充当率 約42%	災害 3.85 設備 4.62 管路 3.91 計 12.38	・Cと同じ